

【第5号】

令和6年4月22日発行
刊行物登録番号 2024-41
調布市郷土博物館文化財係
☎042-481-7656

✉kyouhaku@w2.city.chofu.tokyo.jp

みんなで育む・感じる・発見する縄文のふるさと 国史跡下布田遺跡 史跡整備ニュースレター

令和5年度の市民ワークショップ開催について

史跡公園開園に向け、市民の皆様とともに活用等を検討・実践する取組みを進めています。令和5年度は、「下布田遺跡の自然ふれあい活動」、「旧暦七夕星空観望会」「ヤギの除草事業」の3つのプロジェクトを実施しました。



下布田遺跡史跡整備市民ワークショップの実施概要

| 回 | 開催日 | 内容 | 参加人数 |
|---|-------|---------------------------|------|
| 1 | 4/16 | 令和5年度の事業検討 | 16人 |
| 2 | 6/11 | 下布田遺跡の樹木のことを専門家に聞いてみよう | 16人 |
| 3 | 8/22 | 旧暦七夕星空観望会 | 22人 |
| 4 | 10/15 | 下布田遺跡史跡整備事業の紹介・第5回内容の詳細検討 | 11人 |
| 5 | 11/18 | 自然ふれあい活動(バイオネストづくり) | 13人 |
| 6 | 1/14 | 令和5年度プロジェクトのまとめ(意見交換) | 15人 |
| 7 | 3/10 | 令和6年度プロジェクトの検討 | 16人 |



第2回「下布田遺跡の樹木のことを専門家に聞いてみよう」

令和5年6月11日(日)に開催し、16名の方にご参加いただきました。生物多様性保全協会の石川和宏氏を講師に迎え、現地で下布田遺跡の樹木の様子など自然環境について教えていただきました。将来の史跡公園の整備を見越して、昆虫や植物のために取り組めることは何か等、活発な意見交換がなされました。



第5回「自然ふれあい活動(バイオネストづくり)」

令和5年11月18日(土)には、13名の方にご参加いただき、下布田遺跡の自然環境を知り、守る取組みとして、バイオネスト(落ち葉だまり)を作成しました。バイオネストは、枝や朽ち木を集めて、鳥の巣状に組み、その中に落ち葉を入れて作ります。溜めた葉が腐葉土となって、昆虫などのすみかになります。参加者の皆さんのチームワークによって、30分ほどで2mほどの立派なバイオネストができました。今後も定期的に落ち葉を入れ、天地返しをして維持管理をしていく予定です。





第3回「旧暦七夕星空観望会」

旧暦の7月7日にあたる令和5年8月22日(火)に月とこよみについて学び、星空を観察する旧暦七夕星空観望会を行いました。親子含む22名の参加がありました。当日は、ワークショップ参加者による月とこよみのお話のほかに、「シニアの絵本を楽しむ会」(染地のボランティア団体)による「はたおりぼしとひこぼし」の紙芝居等の読み聞かせを行いました。あいにくの曇り空で夏の大三角形と月は見られませんでした。天体の動きで季節だけでなく日付けや時刻を読んでいた昔の人々に思いをはせる時間となりました。今後は、太陽の運行(夏至や冬至に日が落ちる方角)が下布田遺跡からどのように見えるか観測し、縄文時代の下布田びとの暮らしのありようについて、探求していく予定です。



ヤギの除草事業

令和5年7月3日(月)から8月31日(木)にかけて、草が生い茂る下布田遺跡の除草のためにヤギによる除草の実証実験を行いました。3頭のヤギによる除草を行いましたが、夏場の暑い時期だったこともあり、昨年度のような除草効果は得られませんでした…。しかし、7月22日(土)・8月26日(土)に行った「ヤギふれあい環境学習」には合計で175人の参加があり、下布田遺跡を知ってもらう良い機会となりました。令和5年度はワークショップの有志で、ヤギの頭数確認、健康状態(フンの状態)の確認、水やり、電気柵の確認といった日々のお世話を分担していただきました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。今後は、史跡公園開園後もヤギ除草を導入できるのかどうか令和6年度の実証実験を通して検討していく予定です。



第6回「令和5年度プロジェクトのまとめ」

第7回「令和6年度プロジェクトの検討」



令和6年1月14日(日)、3月10日(日)に令和5年度のワークショップで実施したプロジェクトの振り返りと令和6年度にワークショップで行うプロジェクトについて話し合いました。第6回は15人、第7回には16人の方にご参加いただきました。参加者からは、「楽しく参加できた」「様々な学びがあった」「子どもにも興味をもってもらえるような活動を行いたい」といった感想や意見があがったほか、令和6年度の新たなプロジェクトとして「土器焼きをやりたい」「史跡の伐採木を利用して何かできないか」といった案があげられました。

今後のワークショップについて

ワークショップでは、下布田遺跡が史跡公園として開園したときに多くの人に知ってもらい、訪れてもらうには?というテーマで、現在の下布田遺跡でできることを考え、実践していただきました。1年を通して積極的にご参加いただきありがとうございました。

今後は、令和5年度のワークショップで実施したプロジェクトを引き継ぎつつ、新たなプロジェクトにも取り組んでいく予定です。多くの皆様のご参加をお待ちしております!